

〈次元怪談〉 登場人物

- ・ 不動寺ナユタ
- ・ 空蟬（うつせみ）
- ・ みゆき
- ・ みのり
- ・ ほたる
- ・ 犬原先生
- ・ 犬原先生の母親
- ・ 老婆の末摘花（すえつむはな）
- ・ 女刑事の賢木（さかき）
- ・ 幼子の絵合（えあわせ）
- ・ 初音
- ・ 柏木
- ・ 松風
- ・ 葵
- ・ 語り部の桐壺（きりつぼ）
- ・ 語り部の朧月夜（おぼろづきよ）
- ・ 語り部の花散里（はなちるさと）
- ・ 語り部の若菜上（わかなのじょう）
- ・ 語り部の若菜下（わかなのげ）
- ・ 語り部の幻（まぼろし）
- ・ 語り部の蜻蛉（かげろう）
- ・ 宿木達（やどりぎ）※エキストラ

（お品書き）

・いずみ峠

語り部の桐壺 黒田侑奈

犬原先生 もりの幻

母親 口石めぐみ

・肝試し

柏木 水豆

初音 富井

若菜上 口石めぐみ

若菜下 黒田

・土鈴

怪奇DJテクノ

・ノック

・エレベーター

怪奇DJテクノ

・広告

・口裂け女

・休憩（怪奇DJテクノ）

怪奇DJテクノ。

M0…怪談の回廊

V…ナユタの部屋

語り部の桐壺

怪談をしてはいけない、もうこの世界へと戻って来れないのだから
しかしこの世界へと戻ってくるための方法もまた、怪談なのである。

V…いずみ峠

M…いずみ峠

不動寺ナユタ

峠の話をしてあげる、この世界からあの世界へ…次元の狭間
そういった場所は幾つかある、その一つが…いずみ峠
車で行ける場所…もちろん歩いてでも行ける…
高校の校舎の窓からも見える場所…

〈いずみ峠〉

語り部の桐壺

車で行ける場所。もちろん歩いてでも行ける。
高校の校舎の窓からも見える場所。いずみ峠。
でも学校の遠足で来る事は無い、昔からこの峠に来てはいけないと…
言われているから…

V.. 学校教室

みゆき 新任の犬原先生辞めちゃったんだって

ほたる 休みの日に、いずみ峠に行ったらしいよ

みのり 無事に帰って来れたんだからよかったじゃん

ほたる 犬原先生、親が亡くなったんだって

みゆき だからもう教員は辞めるんだって

語り部の桐壺 そんな帰り道、用務室から出てくる犬原先生に会った

V.. 用務員室

犬原先生 調べたい事があったから…用務員さんに聞きにきた

いずみ峠…行ってきたんだ…知ってるよ…

みんなは行かないんだろう？…でも…行きたくなっただ

興味や好奇心は大事にした方がいいよ…何かに出会えるから…

M.. いずみ峠 怪談 B

V.. いずみ峠 朝霧

…あの日は霧がかかっていた…少ししか見えない…

5 mもあつたかな…ほんの少ししか見えないんだ…

遠く…遠くに、誰かが歩いてる…知ってる人…知ってる人なんだ

お父さん…私の父親だった…

だってあの服はおとうさんだよ…どうやってここまで来たの？

…お母さんは？…なんで一人なの？…

振り向いてくれないんだよ…いくら呼んでも…

振り向いてくれなかった…

そのまま見えなくなった…行ってしまったんだよ…

父親は、峠の先に…霧の中へ…

ピピピピ…携帯電話が鳴った…ピピピピ…

実家はこの音にしているんだ…実家だけはね…この音だったから…

母親だよ…おかあさん…あ、もしもし？おかあさん？あのね…

母親

あのね…さつきね…おとうさん、亡くなったから…

犬原先生

え？…

母親

息をね…引き取った…ちょっと昼寝をするからって…

そのままね…起きてこなくて…息をしていなくて…

犬原先生

そっちに…行ったの？

母親

こっちにいるよ…

犬原先生

こっちにいたよ…

母親

そっちに行ったの？…

犬原先生

こっちにいたよ…そっちに…行ったんだ…

じゃあ…そっちに行くから…うん…そっちに行くから、安心して

語り部の桐壺

犬原先生が用務室に来た理由。いずみ峠。いずみ峠について

いずみ峠の由来。用務員さんは詳しいから、地域の事を、

あの場所の事を、霧に包まれる林の中の坂道

湧き出る泉の無い、ただの坂道、いずみ峠

犬原先生

昔はね、きいずみだったらしいよ。きいずみ峠だった

でもそれよりも前、それよりもっと前は漢字で「きいずみ」だった

縁起が悪いからと、ひらがなにしたら、きいずみ峠

そのうち言いやすくしたんだろうね、きいずみ峠から、いずみ峠に

「きいずみ」から、「き」をとって、いずみ峠

ははは…漢字のままでもよかったのに…知っていたら行かなかった

いずみ峠、みんなは行っちゃだめだ

でも、行ってよかったよ、逢えたからね…父親に…

黄色の泉、きいずみ峠、いつのまにか、きをとって、いずみ峠に…

よし、最後の授業だ…黄色の泉きいろ いずみって書いて

「黄泉（よみ）」って呼ぶんだよ。言われてみればそうだろう？

文字で見せれば早かったかな、よみ峠…あそこは、黄泉の峠なんだ…

語り部の桐壺

犬原先生は学校を辞めた。少しだけ寂しくなった学校

後者の窓からはいずみ峠が見える。林の中の坂道

湧き出る泉の無い、ただの坂道、いずみ峠

犬原先生が最後に教えてくれた事、黄泉の坂道、いずみ峠

犬原先生が最後に教えてくれた事、

興味や好奇心は大事にした方がいいよ…何かに出会えるから…

あれは、朝霧か夕霧か…いずみ峠に行ってみた

M…いずみ峠

好奇心はその体をいずみ峠へと運んだ

霧がかかっている、少し先しか見えない

5mも見えただろうか、ほんの少ししか見えない先を

遠く…遠くに、誰かが歩いている…歩いていた…

知ってる人…知ってる人なんだ、よく知ってる人

M…いずみ峠

スキャット

犬原先生だった、犬原先生が歩いている…

辞めたはずの犬原先生が歩いている

遠く離れた場所からどうやって来たのだろうか

でも、好奇心は恐怖に変わった…声が出なかった

見つめる事しかできなかった…

犬原先生はそのまま霧の中へと消えてゆき、見えなくなった

ピピピピ…携帯電話が鳴った…ピピピピピピ…

あれから着信音はこの音に変えていた…

もしもし？

みゆき

あのね、犬原先生っていたでしょ？

ほたる

辞めた犬原先生

みのり

いずみ峠の犬原先生

ほたる

死んだんだって

みゆき 犬原先生、亡くなったんだって

M::END いずみ峠

いずみ峠 完

肝試し

語り部の若菜上 きいずみ峠のように昔は漢字があてられていたり

なまったり削ったりして今の読み方になった地名はいくつもあります

人が「去る」場所には動物の猿、人が「居ぬ」場所には犬、

人が来ない「来^きず」場所には雉^{きじ}

県境の峠を越えた場所にあるこの村の名前は「しきじ村」

色の字と書いてしきじ、いろじと読んでしまう子もいます

音読みと訓読みの違いは分かっても、初見では読み方が

分からない地名は沢山あります

ここにやってきた若者も最初は読めなかったようです

語り部の若菜下 この村のお寺が改装されて旅館になりました

名前は「色字会館」

学校や企業の研修、合宿所としても使えるユースホステルのような

場所です。お祭りや消防団のように村の青年がスタッフをしてくれています。宿泊者にはキャンプファイヤーや肝試しなどのイベントを実施する時もあります
都会から離れた場所ですから、こうした交流を経てのお嫁さん探しを兼ねているのかもしれませんが

語り部の若菜上

本日、この色字村の色字会館にやってきたのは美大生の二人

初音（はつね）と柏木（かしわざき）

地域の風習や生活を描く民族画を描くためにこの村を訪れました

初音

今日のレクレーション、肝試しだった

柏木

いいじゃんいいじゃん、絶対ここにまつわる話聞けるよ

語り部の若菜下

晩御飯を終えたあと、食堂にいる宿泊者に、青年団は場所の移動を

告げました。渡り廊下を歩き、離れの部屋へ

全員に紙が配られました。説明はその紙に書いてあるようです

柏木

いいじゃんいいじゃん、読めって事ね

初音

なになに？皆さんは、「肝試し」の語源を知っていますか？

それは、恐怖に耐える胆力があるかどうか、

肝臓である肝の強さを試すので肝試し、です

柏木

この村のお葬式はこのお寺で行われ、ご遺体を安置し、お線香を一晩絶やさずにいる場所は、ここからさらに離れにあるお堂で行われていました。

初音

離れのお堂の中央にご遺体を置き、12本のお線香で囲みます
1本で1時間、火を付けたら30分後に隣のお線香に火を付ける
それを繰り返して一晩、お線香を絶やさずに過ごします

柏木

二人一組で、一人はお線香を付け、もう一人はお堂の周りを歩き、夜回りの警備にあたる。お線香と警備を交代で行う事で

初音

うっかり寝てしまう事を伏せぐ事ができます
そして、一人でご遺体と向き合う事や、深夜の見回には度胸が必要です
子供には中々できない事ですので、この任務を全うした者が大人、成人として扱われる試練でもあります

柏木

この風習が、肝の強さを試す儀式、成人の儀式でもあります
いいじゃんいいじゃん、この風習を描こうよ
あ、質問があります、この村の名前、色字村の由来は何ですか？

語り部の若菜上

質問をした時、一瞬、時間が止まったように青年団の雰囲気が変わりました。

青年団

今、その話はしていない！

語り部の若菜下 怒りをあらわにした、少し大きめの声で注意されたのです

柏木 す、すみません…

初音 ねえ、裏もあるよ。お線香の火を付ける順番は、時計回りで行う事

お堂の警備も、時計回りで行う事

柏木 どちらも半時計回りで行ってはいけない

初音 お線香を半時計回りにすると、死者が動き出す

柏木 お堂を反時計回りに廻ると、交代の時に出てくるのは死者になっている

初音 どちらを行った者も、死者に肝を食べられてしまう、ゆえに

柏木&初音 どちらも反時計回りに行ってはいけない

若菜の上下 これが、今日の肝試しのルールです

語り部の若菜上 二人一組になり、一人はお線香

語り部の若菜下 もう一人はお堂の回りを歩く

若菜の上下 それが、今夜の肝試しのルールです

初音 え…どっちを選んでも一人になっちゃうの？

柏木 いいじゃんいいじゃん

初音 私、中がいいな…

柏木 じゃあ私は警備にあたります

語り部の若菜上 こうして二人一組の肝試しはスタートしました

語り部の若菜下 初音と柏木の順番は最後です

初音 え…最後のなの？

柏木 あーあ、怒らせちゃったか

初音 柏木

柏木 いいじゃないいいじゃん、性格悪く、絶対嫁には行きたくない

語り部の若菜上 肝試しは始まり、一組目、次の一組目と部屋を出て行きますが
いまだにどの組も戻って来ません

語り部の若菜下 それでも次の組は出発していくので、段々と人が少なくなっていくます
それでも最初の組は戻って来ないので

柏木 誰も戻ってこないじゃん

初音 あ、書いてあるよ、肝試しが終わったら自由解散となります

柏木 お堂を出たら大回りで会館の正面入口を通って自室へとお戻りください
もう今この時間が肝試しじゃん、最初の組が良かったなあ

語り部の若菜上 そして自分達の番がやってきました

語り部の若菜下 二人は部屋を出て、お堂へと向かいました

初音 怖いよお、青年団の人もない

柏木 いいじゃんいいじゃん、多分お化け役でいてくれるよ

初音 怖いよお

柏木 人がいてくれるんだよ、安心じゃん、んじゃ、頑張ってるよ

いい？時計回りだよ

初音 柏木も、時計回りだよ、逆に回らないでね、絶対だよ

柏木&初音 じゃあ、よろしくね…

語り部の若菜上 こうして二人はそれぞれの役目をしに向かいました

お互いが時計回りに行う事を信じて

語り部の若菜下 お堂の周りを回った柏木はお堂の前に戻り、扉を開けました

初音 遅いよ…

柏木 ごねんね…思ったより…怖くて…お線香付けたんだね

語り部の若菜上 線香に囲まれた中央には、白装束のご遺体役である青年が寝ています

柏木 これと一緒にいたの？いいじゃん、いいじゃん

語り部の若菜下 すると白装束の遺体がゆっくりと起き上がり、動き出しました

初音 動いた…

柏木 え？これが初めて？

初音 全然動かなかったよ、死体みたいに

柏木 いいじゃん…いいじゃ…ツガツ

初音 ああツツ…

語り部の若菜上 白装束のご遺体を見ている時、後ろから大きな衝撃を感じました

語り部の若菜下 二人の後ろに立つ青年が持つ鈍器によって後頭部を殴られたのです

語り部の若菜上 そのまま倒れると、意識がもうろうとする中、ご遺体と青年に抱えられ

線香の中央に、ご遺体が寝ていた場所へと寝かされたのです

語り部の若菜下 そして持っていた鈍器を鋭利な包丁へと持ち替え、

柏木と初音の服のめくり、おへそが見えるくらいに、

少しズボンを下げ、シャツを上上げました

初音 何…されるの？

柏木 乱暴…されるんだよ…

語り部の若菜上 乱暴された方がよかったのか、いえ、どれも乱暴に違いはありません

語り部の若菜下 包丁を二人のお腹に刺し、ゆっくりと裂いていきます

柏木 ヲえっ

初音 うううう

語り部の若菜上　そして肝である肝臓が取り出され、青年たちは食べ始めました

語り部の若菜下　若い人の肝は新鮮で美味しいそうです

初音　その味を試すのが…肝試しなんだ…

柏木　色字村の由来…色はしょく、しょくじ、しょくじ村だった…

初音　昔は、んっ…が付いて…しょくじん村…

柏木　うっギイ…食人村…だった…

語り部の若菜上　人を食べる風習のある食人村だったのです

語り部の若菜下　しょくじん、から、んを取って、しょくじ、しょくをしきに変えて

漢字を変えて、色字村

若菜上下　どこでこうなってしまったのでしょうか

語り部の若菜上　どちらかが、反時計回りに廻ったのでしょうか

語り部の若菜下　どちらも、反時計回りにしてしまったのでしょうか

柏木　初音…時計回りに…した？

初音　柏木…半時計回りに…廻った？

柏木　え？…

初音

え?…

柏木

回したの?

初音

回したよ…廻ったの?

柏木

廻った…の…

語り部の若菜上

どちらかが、反時計回りに廻ったのでしょうか

語り部の若菜下

どちらも、反時計回りになってしまったのでしょうか

語り部の若菜上

どちらかが嘘をついています

語り部の若菜下

どちらも本当の事を言っています

語り部の若菜上

自分が時計回りでも、相手が半時計回りなら、

この次元へと飛ばされます

語り部の若菜下

相手が時計回りでも、自分が半時計回りなら

この次元へと飛ばされます

若菜上下

どちらも半時計回りでも、この次元へと飛ばされます

語り部の若菜上

どちらも時計回りなら、ちゃんと帰れたのです

語り部の若菜下

二人はちゃんと帰る事ができませんでした

初音

こうしてこの会館の廊下には、一枚の絵が飾られました

柏木

線香に囲まれた二人の肝が、白装束の遺体に食べられる風習画

若菜上下

こうして私達は、語り部になったのです

初音&柏木

こうして私達は、語り部になったのです

V…ナユタの部屋

SE…土鈴

不動寺ナユタ

コロコロ、コロコロ、土の鈴、土鈴

もうここは、黄泉との狭間

この音は黄泉との狭間にある音

この音を聴いたのは3人の子達

ひらがな三文字がいい。

みゆき、みのり、ほたる

この音を聴いたもう一人

名前は、そうだな、すえつむはな、末摘花

（土鈴）

M…妖怪民宿・怪奇音

V…バス停日中

語り部の朧月夜

これは卒業旅行で東北へとやってきた

女子大生3人が体験したお話です

泊まった先はホテルでも旅館でもなく民宿

民宿も味があつていいものですよ

民宿を営む家族による生活感のある雰囲気、その場所も大通りではなく

商店街の外れにある事も少なくありませんが、だからこそ、

安くていいのです

V…民宿前

みゆき

着いたよ

みのり

ここで合ってる？

みゆき

あそこに神社あるでしょ、となりの、となりの、となりで、

みのり

じゃあ合ってるか

ほたる

神社？神社行きたい

みゆき

もう遅いよ、運転疲れたし

みのり

明日にしろ、遅くなったら迷惑でしょ

V…民宿玄関

ほたる ごめんくださーい、ごめんくださーい、けっこう広いよ

ごめんくださーい

みゆき ところでなんでごめんって謝るんだろうね

みのり 御免が欲しいんじゃない

みゆき お礼の方が欲しいかな、ありがとうございます

ほたる ありがとうございます！

みゆき&みのり バカ！

語り部の朧月夜 学生らしい明るさで、夕暮れ時の静かな場所でも、その声ははっきりと

聞こえます。

率先して声を出してくれたおかげで、民宿の家主はやってきました
荷物を玄関に置くと、間取りの説明を受けました

V.. 民宿、食堂前

広めの玄関に、奥へと続く廊下、食堂になる大部屋、

その奥にキッチン、さらに奥には家主と家族の部屋となっています。

みのり 今日私達だけだって、二階の部屋、どこ使ってもいいみたい

語り部の朧月夜 宿泊者は二階となります。広めの玄関の右側にあるL字の階段を上げれば

V.. 民宿2階通路

二階へと続き、幾つもの部屋が続く間取り、奥へ行くほど広い部屋に
なっているようです

ほたる 広い部屋！広い部屋！

みのり 八人部屋だって

ほたる そこにしよう

みゆき 図々しい、あんたうるさいからダメ。一番手前の部屋で大丈夫です

語り部の朧月夜 まとめ役のみゆきは、二階に上がってすぐの部屋を選びました

二階の奥へと進むと、広い八人部屋の奥にはお手洗いとお風呂、

その奥には少し狭い二人部屋がありますが、今は物置になっている
ようです。その奥には1階へと続く階段があり、家主の部屋へと
繋がっています。1階から2階までぐるりと一周できる、奥に長い
長方形の民宿です。

ほたる 重いよ

みゆき ゲーム持ってき過ぎだよ

みのり もうご飯だっけ

ほたる いただきますーす

みゆき&みのり いただきますーす

ほたる え、普通

みゆき いうな

ほたる 普通の味

みのり いうなっば

みゆき 旅館じゃないの、民宿なの

みのり お風呂の時間だよ

ほたる わーい、露天風呂露天風呂、無い

みゆき 民宿だっていうてますやん

ほたる ぶはー、牛乳美味しい！あ、本棚あるよ

みゆき るるぶ、るるぶ

ほたる 漫画読もうっと

みのり 小説少ないね

ほたる 妖怪辞典だ

みゆき 地域別になってるね

ほたる ぬらりひょん、化け猫

みのり 東北は？雪女、座敷童、化け猫、ここにも化け猫

ほたる なくご

みゆき ごめん、もうういや、ゲームしよ

語り部の朧月夜

このページで読むのをやめました。閉じられた本は、朝になれば戻しにいきましよう。でも、本当はもう1ページめくった方が良かったのかもしれません。そのページを見た方が、きっと、よかったのだと思います

みゆき ちよつとトイレ行ってくるね

ほたる お手洗い、厠、かわや、トイレの妖怪は確か

みゆき ちよつとやめてよ、さすがにやめて、本当にやめて

語り部の朧月夜 冗談が好きなほたるも聞き分けはよいのです

やめると言われればやめてくれます。

二階の廊下を奥へと進み、八人部屋を過ぎてトイレへと向かいます
手を洗おうとした時、鈴の音が聞こえました

SE…土鈴

みゆき コロコロ…

語り部の朧月夜 コロコロと音を聴いたみゆきは部屋へと戻ります

みゆき 猫ちゃんいるみたい

みのり えー？鳴き声したかな？

みゆき 首輪、土鈴っていうのかな、粘土のやつ、コロコロって音がした

みのり じゃあ、私も行こうつと

語り部の朧月夜 次はみのりがトイレへと向かいました。でも土鈴の音は聞こえませんが

猫を探してもよかったです。みゆきは探す事を選びませんでした

廊下に出て、奥の方へは顔を向けず、自分の達のいた部屋へ、
1点を見つめて歩きました。ほんの少しです、ほんの少しだけ、
廊下が長く感じました。自分達のいた部屋からは二人の声が聞こえます
少し間をおいてから、みのりはドアを開けました

みゆき どう？いた？

みのり 猫ちゃんいなかったよ、音しなかった、足音は…聞こえた？

みゆき 猫ちゃん？

ほたる トットトット、トタつ、トタタ

みゆき 似てる。しなかったよ、足音聞こえたら音もするでしょ

みのり ううん、私の

みゆき みのりの？

ほたる 聞いてない

みのり ギシギシは？

みゆき してないよね？何？

みのり 忍び足、練習してみた。してないならOK

ほたる じゃあ次、拙者が行ってくるでござる

語り部の朧月夜 最後にほたるがトイレへと向かいました。自由奔放なほたる。

自由な人は、本来の目的から外れた行動をしがちです

トイレに行くつもりはあったのですが、トイレの前を通り過ぎ

奥へと進み、二人部屋の扉を開けました。

ほたる

ガチャ…にゃー

語り部の朧月夜　今は物置になっている小さな部屋、猫の気配はしません

扉を閉めると奥へ進み、1階へ続く階段を下りました

辺りは暗く、民宿の家族も寝静まっているようです

V.. 民宿、食堂前

ほたる　猫ちゃん、黒猫ちゃん、三毛猫かな？

老婆の末摘花　何しとる？

ほたる　わっ！びっくりしたー……

語り部の朧月夜　後ろから声をかけたのは老婆、この民宿の家族でした。

小柄でおばあちゃんらしい恰好に、少し腰の曲がった姿勢です

ほたる　あー、びっくりしたー……猫ちゃんいないかなって、ごめんなさい

老婆の末摘花　猫……おらんぞ

ほたる　え？飼ってないんですか？鈴の音……

老婆の末摘花　おらん……おらん、おらん、戻れ。おるうちに戻れ、寝ろ

ほたる　はーい、すいません

語り部の朧月夜　ほたるは少し足早に1階の廊下を歩き、キッチンの前、食堂の前を通り

階段を上り、自分達のいた部屋のドアを開けました

ほたる　猫ちゃん飼ってないって、おらんっておばあちゃん言ったた

みゆき あんた1階まで行ったの？超迷惑、おばあちゃんいるんだ

ほたる おるうちに戻れ、早く寝ろって

みゆき おるうち？野良ネコちゃんって事？

ほたる わかんない、おばあちゃん、多分ちよっときてるかも…

うちのおばあちゃんもそうだったから

みのり ねえ、もう寝ようよ

語り部の朧月夜 深夜の24時も過ぎていたので3人は寝る事にしました

でも、ほたるにとっては少し早い時間です

色々と考え事をしながら布団の中で寝る努力はしていましたが、

ふと気が付きました。自分はある時、トイレに行っていなかった事に

M…孤独の回廊

V…民宿、深夜の通路

ほたる 忍び足、忍び足

語り部の朧月夜 足音を立てずにトイレへと向かいました、ぼそぼそつぶやきながら

ほたる 野良の猫ちゃん野良ネコちゃん…あれ？鈴を付けていたら

野良じゃないよね…飼われておるぞ

野良じゃないのに、おらん、おらん、鈴のねしたら、それはおる

おるよね。おるおる、でもおらん、つまり野良ちゃんおらんおらん
おるうち戻れと、おばあちゃん

語り部の朧月夜 手を洗い、トイレから出る時、コロコロと音がしました。

SE…土鈴

ほたる コロコロ…

語り部の朧月夜 音がしたのはトイレの隣、最初に泊まりたかった八人部屋からです
両開きのふすま、広い和室の八人部屋
ほたるはふすまを開けました。

ほたる 野良ちゃん…入るよ…

V…おしら様

語り部の朧月夜 その部屋には床の間があり、薄暗い中に古びた掛け軸と人形が置いてあるのが分かりました。地方特有の人形というべきか、
市松人形のようにではなく、大きさはひな人形くらいですが、
ひな人形ほど整ってはいません。無骨な木材に着物を着せただけの
古びた人形。よく見ると、その人形の首元には……土の鈴…
土鈴がかけてありました。

老婆の末摘花 おしら様やぞ

語り部の朧月夜 後ろから先ほど老婆の声がありました

ほたる …!!…ふう〜…おしら様…?

老婆の末摘花 おしら様やぞ…手を合わせとけ…おるうちに戻れ…

おるうちに戻れ

ほたる お掃除してるんですか?

老婆の末摘花 綺麗にしとけ、綺麗にしとけ、おしら様やぞ、おるうちに戻れ

ほたる お邪魔しました…

V…民俗…深夜の通路

語り部の朧月夜 ほたるは無言で部屋へと戻り、布団に入りました

すると隣で寝ていたみのが声をかけてきました

みのり 忍び足…してきた?

ほたる …あ…ごめん…忘れてた…ごめんね

みのり ううん…足音…しなかったから…大丈夫だよ…

ほたる …そう…

みのり ここね…いろいろいるから…外、出たくなくて…

ほたる 静かだね…おばあちゃん…お掃除の音しない…

語り部の朧月夜 すると廊下からココロと土の鈴…土鈴の音がしました

SE…土鈴

ほたる
コロコロ…

みのり
あれは…多分大丈夫だよ…見守り…かな………

ふふふ…パトロールしてくれてるんだよ…可愛いよね………

語り部の朧月夜
次の日、本棚へと妖怪図鑑を返す時に、昨日見たページが開きやすくな
っていました、その次のページには「おしら様」と書かれています

M…神隠しの調べ

V…おしら様、一步前へ

土鈴 完

M…怪奇DJテクノ (10分の休憩)

ノック

M…無意味なノック または 監視

語り部の花散里 女刑事。ドラマや映画では自然な配役。彼女は女優の卵。

V…ノック1. ハウス外観

M…ノック不思議な回廊

彼女はアミューズメントパークでアルバイトをしている

「ミステリーツアー」のアトラクションにてツアーコンダクター。

V…ノック. ハ2ウス入口

殺人事件のあった館を巡り、犯人を特定するための手がかりを

探してゆくというもので、館を訪れた客人を案内しながら血痕の残る

部屋を通り、出口に着く頃には犯人が分かるというものだ。

ここから紹介するのはその台本の一部であり

ト書きにはこう書かれている。観客はアトラクションに入り、

V…ノック. ハ3ウス通路

古びた絵画の並ぶ廊下を進む。

少し歩くと曲がり角があるので女刑事はそこで待機している

そこで鉢合わせたように驚き叫ぶ

女刑事の賢木 誰だ！…なんだ民間人か…ここをどこか分かっているのか？…

殺人現場だ…早く帰れと言いたいところだが、館から出るにはここを通った方が近い…よし、案内しよう。気を付けてついて来い

V…ノック4. ドア

(コン、コン)

語り部の花散里 くドアをノックし入室する女刑事く

女刑事の賢木 一応、念のためな…誰かいるのか？…よし…入るぞ

語り部の花散里 こうして生々しい血痕の残る殺人現場となった部屋へと入っていき、

観客は部屋を抜けて薄暗い通路を通り出口に向かうという、
ほぼお化け屋敷に近いアトラクションなのだ。

女刑事の賢木 誰かいるのか？…よし…入るぞ

語り部の花散里 セリフの通り、誰もいない事を確認してその部屋へと入る

V…ノック5. 殺人現場

女刑事の賢木 ここが殺人現場だ…おい、触るなよ…

指紋が付いたら：お前も容疑者の一人だ

女刑事の賢木

さあ、このドアを開ければ出口に通じているからな：開けていいぞ
私はここに残って応援を待つ、ちょっと開きにくいかもしれないが
しっかり回せば開くからな……ゆっくり……ゆっくりだぞ……
そう、それだ……

語り部の花散里

ツアー客はドアを開けるために恐る恐る、ドアノブに触る

女刑事の賢木

待て！……すまん、間違えた……ははは……そこはただの物置だった……
とはいえ、この家主の、金庫がある部屋でもある……ふふ……
すまんすまん……出口はこっちだった、私が開けてあげよう……
さあ、出口に向かいなさい……転んだら危ないからゆっくりな……
ゆっくり行くんだぞ……

M…ノック不思議な回廊3

語り部の花散里

お分かりいただけただろうか？
このあと、彼女は待機部屋へと向かい、先回りをする
観客は最後の出口付近へ来ると、
先ほどとは少し違う雰囲気的女刑事が現れる

V…ノック6、ハウス出口通路

女刑事の賢木

なんだ…まだいたのか…ははは…

ここは危ないから私は最後尾に回り、後ろから誘導しよう

さあ、進みたまえ…そうそう、この殺人事件の犯人は分かったか？

金は人を狂わせる…金の欲望にかられると…

人は平気で人を殺せるんだ…

予定通り…お前たちの指紋はべったり残っている…

金庫のあるあのドアノブにも、べったりと…

そう…私が殺したんだ！

女刑事の賢木

逃げるな！待て！

V…ノック7. サイレン

語り部の花散里

ここで観客は最後の曲がり角を曲がり、女刑事は追わずに捕まる演技をする。

女刑事の賢木

離せ！くそう！もう少し！もう少しだったのにー！

語り部の花散里

以上がこのミステリーツアーの台本である。

V…ノック8. ハウス外観

おわかりいただけただろうか？

それではここからがこの話の本題となる

ある日から、女刑事役の彼女は悩みを持つようになる

一人で解決できる問題ではないのに、

彼女はその悩みを誰にも打ち明ける事が出来なかった、

ここから先の話は、誰にも言えなかった彼女の日記である

V..ノック9. ドア

女刑事の賢木 あの部屋だ、最初の殺人現場、あの部屋

女刑事の賢木 ノックをして入るあの部屋だ

女刑事の賢木 誰かいるのか?.....よし:入るぞ

女刑事の賢木 ノックをして入る、誰もいないあの部屋だ

女刑事の賢木 誰かいる:最初は、先輩だと思っていた:

でも違った:ここは私だけ:交代の人が先に来ていたわけじゃない:

女刑事の賢木 誰かいる:誰かがいる

女刑事の賢木 日に日にドアが開きにくくなっていく

女刑事の賢木 ドアノブが回りにくい

女刑事の賢木 ドアノブが回りにくい

女刑事の賢木 ドアノブが回りにくい

語り部の花散里 日記の最後はこう書かれていた

女刑事の賢木 ドアノブが回りにくいのは当然よね:だって.....

向こう側で誰かが開かないように握っているんだもん.....

語り部の花散里 この言葉を最後に彼女は辞めてしまった

V..ノック10. ドア開く

誰もいない部屋はノックしない方がいい。

M..いつでもあなたのそばに、DJテクノ 1番流して1分

二番鍵をかけてもムダよ」からフェードアウト

V..ノック11. ハウス外観

V..怪奇DJテクノノック

V..神社の中、ナユタの部屋

ノック 完

エレベーター

・語り部の幻

・松風

語り部の幻

同じくアミューズメントパーク

近未来の空間を思わせるサイバー空間

彼女の名前はアクションウーマンの松風

このパークの人気アトラクションの一つ

光る剣を持ち、LED照明や映像演出でのソードアクションショー
で駆け巡る

（ソードアクション）

松風 ふう：お疲れ様でした。お疲れ様です。お疲れ様でした。

上司 松風、お疲れ

松風 お疲れ様です

上司 来月から内容変わるから

松風 はい、頑張ります

上司 いや、頑張らなくていいよ、別の現場入ってもらおう

松風 え？

上司 温泉好きか？

松風 好きです

上司 天国みたいな現場だよ、三食、温泉、昼寝付き

鬼怒川温泉、暁ホテル、毎日ヒーローショーやってるよ

鬼怒川温泉で、僕と握手！

松風 鬼怒川温泉：鬼怒川温泉って：栃木県？

上司

ああ、羨ましい羨ましい、楽しんでこいよー

先輩

あーあ、左遷されたな、アクションマンの墓場

ダラダラダラダラ

照明も何もないただの宴会場で旧式のヒーローショー

松風、お前、事務所から見捨てられたな

松風

…負けるもんか…毎日、練習してやる、必ずここに戻って来てやる

語り部の幻

東京で最先端のショーから地方のヒーローショーへ

鬼怒川温泉、暁ホテルでは宴会場にて連日、

昔ながらのヒーローショーが開催される。

このホテルは本館と別館がある

従業員の部屋は別館にあるのだ。彼女の部屋は11階

社員食堂もこの3階にある

ある日、ここで噂を聞いた。このホテルは「出る」らしい

松風

…深夜の露天風呂で人影を見た…

…別館の非常階段には子供の霊が出る…

…宴会場のバックヤードですれ違う老婆の霊…

語り部の幻

と、七不思議のごとく、従業員の間で心霊現象が噂されている

そして、この社員食堂の下の階、2階はもう使われていないため

昼間でも薄暗く、夜は真っ暗だ。非常灯すらも付いていない
この2階は出るから行かない方がいい。

松風

2階、2階ね。行かない、絶対行かない

語り部の幻

そんな夜

松風

喉渴いた。サイダー

売店…23時…閉まってるか…自販機

語り部の幻

彼女は、その階にある自販機ではなく、社員食堂前にある

自販機に向かった。従業員用の自販機は100円で買えるから安いのだ
従業員エレベーターに乗り、11階から3階の社員食堂へと向かう

松風

暗っ…えっと、延長ボタン

語り部の幻

エレベーターを降りた3m先にはポツンと自販機の光が見える
エレベーターが開いたままになる、開くの延長ボタンを押した

松風

サイダーゲット。11階、閉まる。

語り部の幻

「閉まる」を押してエレベーターが動きだすと違和感を感じた

松風

ん？

語り部の幻 上昇する感覚が遅いのだ。「スー」っと、上がるはずなのに

松風 下がってる？

語り部の幻 「ストン…」とゆっくり落ちるような感覚だった

松風 開いた…

語り部の幻 目の前は真っ暗だった

松風 ここ…2階？誰かいたの？

語り部の幻 11階を押したはずのボタンも消えている

松風 閉めますよ？閉めます

語り部の幻 ゆっくりとドアが閉まる…前に再び開いた

松風 開いた

語り部の幻

ドアは閉まってくれなかった、目の前は真つ暗なままだ

松風

なんで？閉まってよ

語り部の幻

再び、閉まるボタンを押す

ゆっくりとドアが閉まって…くれずに、ゆっくりと開いていく

松風

なんで閉まらないの？閉まってよ、こんな所で…

語り部の幻

彼女は思い出した、ここは使われていない階、社員食堂の下

あの、2階である事に

松風

閉まってよ

語り部の幻

閉まる…開く…

閉める…開く…

松風

閉まってよ、閉まってれば…

語り部の幻

もう彼女は理解している、これは故障じゃない

松風 お願いだから、お願いします

語り部の幻 自分は今、霊現象にあっている

松風 閉まれ、閉まれ、閉まって

語り部の幻 何かが見えるわけじゃない、ただ目の前には闇が広がるだけ
ドアが閉まらない、閉まり切ってくれない、ただそれだけ

松風 閉まってください、開かないでください
そうだ、階段

語り部の幻 そう、エレベーターが閉まらないなら、階段を使えばいい

松風 ここを出て、隣に階段、ドアを開けたら、一気に駆け上がる
せーので、一気に、せーので、一気に…

語り部の幻 動けなかった

松風

無理…あれでしょ、振り返ったら、追ってくるんですよ
無理、階段はだめ、使ったらだめ、もう、戻ってこれない

語り部の幻

彼女の感はおそらく正しい

松風

閉まるまで…こうしてる、閉まるまで、押すから！

語り部の幻

彼女の判断は、おそらく正しかったのだ、エレベーターは閉まった

松風

閉まったの？、11階！11階！

語り部の幻

「スー」と上に上がる感覚
上を見ればデジタル表示の文字が上がっていく

松風

ふー…、早く着いて、着いて…着いた…

語り部の幻

彼女は安堵した、彼女は走って部屋へ向かった
が、一抹の不安…ここは、本当に自分のいた部屋？

松風

あってるよね？

語り部の幻

それでも戻るしかなかった

仲間

遅かったね

松風

エレベーター、2階に…落ちて、しばらく閉まらなくて…

仲間

へえ……勇氣あるね

そのエレベーター…夜は…誰も使わないよ

あ、サイダー

松風

あげない、絶対あげない、もう乗らない

仲間

私も買ってこよつと

語り部の幻

安くて遠い場所は、次元の狭間…かもしれない

松風

もう、高くてもいい、定価でいいから近い場所で

語り部の幻

彼女の判断は、おそらく正しかったのだ

松風

階段…使わなくてよかった

語り部の幻

彼女は戻ってこれたのだ、もし、あの時、階段を選んでいたら…

こうして彼女の夏は過ぎてゆき

秋には再び東京のアミューズメントパークにも戻る事ができた

松風

このホテル、今もあるから

鬼怒川温泉 暁ホテル、名前だけは、暁に変えました
不況にも、コロナ渦にも負けず、今も営業しています
本当にあった、実体験

不動寺ナユタ いつでも、やつらは、その狭間から見ている

あなたの判断は正しかった。

こちらのケースも聞いてみよう

空蝉 …最初は、広告だったんです。全ては広告だったんです

〈広告〉

M…孤独の回廊23 ウッドベース

語り部 スマートフォンはとても便利です

V…広告0スマホ

欲しい商品や話題を教えてください

でもその広告はみんなが見ているわけではないんです

決して流行っているわけではないのです

私の、あなただけにしか流れてこないように…

管理、監視されているだけなんです

でも、着ぐるみ、あのかわいいマスコット、あれは、みんなの物

クマさん、うさぎさん、いろんな動物達が握手をしてくれる
あれも、広告なのです。みんなに、アピールしてるだけ
パチンコ屋さんの新装開店、漫画喫茶新規オープン
通行人の注意を引いて、手を振って握手…でも目的は、
子供と触れ合う事じゃない、本当に知って欲しい事を伝えるための手段
ステルス広告。ステルスマーケット、ステマ…
広告だと気付かれないように振舞っているだけ…

M…フェードアウト

V…広告1リビング

空蝉

コンコン、ただいま…ふう…あーあ…
おかえりーって誰か言っ
(ぬいぐるみに) おかえりー、ありがとー、マスコットだねー
おやすみー……

空蝉

ちゅんちゅん、ちゅんちゅん、外にも鳥さんマスコット、おはよう
独り言…言いますよ、話し相手なんかいないんだもん
みんなそんなものだと思います。だからスマホに打ったんです
「マスコット」って…できれば犬だって飼いたい…
だから「犬のマスコット」って打つよ。最初は、遊園地だったかな
遊園地の写真だった、犬の着ぐるみが看板を持って「いつでも…」って
「いつでも…あなたを案内します」…いつでもって、言葉が気になった
いつでもそばにいて欲しい、帰ってきた時、おかえりーって来て欲しい
だから「いつでも」って打ったんです

そうしたらね、「いつでもこれ1本で簡単メイク」「忙しい朝に」って
広告が出てきた、だから、直接見たくなって、日曜日だもん
駅前のドラッグストア、散歩もかねて…家を出ました

V…広告3 住宅街

そうしたら…流行ってるのかな、この言葉、政治のポスターにも使われ
ていた…

V…広告4 政治ポスター

「いつでも…あなたの生活を支えます」拳を握った笑顔の人
角を曲がればクリーニング屋さん「いつでも…洗い立ての白さ」
次は保育園の園児募集「いつでも…学べる環境を」
私のスマホに流れてくるだけじゃない、流行ってるんですよ、きっと
だから商店街に着いても抵抗はなかった

V…広告5 駅前

着ぐるみが、犬の着ぐるみが看板を持っているんです

V…広告6 着ぐるみ

「いつでも会いに行きます」って…なんの広告なんだろう
これだけだと分かんなくて、着ぐるみだよ、かわいいじゃないですか
前まで来たんです、着ぐるみの…

V…広告6 着ぐるみアップ

着ぐるみは握手をしてくれました、すると、大きな顔が近づいてきて、
最初は笑いながら「近い近いwww」って言ったんですけど、
耳元に来て、耳元まで来て、こもったような声でこう言いました

「いつでも…☆□○▽○…」…え？…

「いつでも…☆□○▽○…」って

その後はよく聞こえませんでした…広告としての言葉を言っていたのか
もしれません。少し引いちゃって…

だってしゃべったら、多分だめだと思うんですよ、そこはちゃんと線を
引いておいて欲しいなって…

境界線…現実と空想の境界線を…引いておいて欲しいですよ

一応、子供向けの、マスコットなんですから…

だから、着ぐるみにはもう背を向けて、その先へ…

ドラッグストアの前に、少し、お腹がすいちゃって、目に入ったのは
ご飯屋さんの液晶広告でした。少し粗いデジタル表示で宣伝が流れて
やっぱり、あのフレーズでした「いつでも…」でもこれは、分かったん
です。想像できたんです。「いつでも家庭の味を」かなって…

でもデジタル表示が粗くて…見逃してしまいました

答え合わせ、自信があったから、もう一度確認したくて、

次のテロップを待ちました…「いつでも…」「いつでも…」

「いつでも…」「殺せるよ」

M…シュ！無限回廊

空蟬

…えっ？…

「いつでも殺せるよ」…そんな…おかしいじゃないですか

商店街、飲食店ですよ？「殺せるよ…」なんて、見間違いかな

もう1回見る気にはなれなくて、そうしたら、振り返ってしまったん
です。なぜか…振り返ってしまったんです…

さっきの着ぐるみが…

V…広告11着ぐるみ3

こっちを見ていました

まるで…ずっと…見ていたかのように、他の通行人には見抜きもせず

「いつでも…」「いつでも会いに行きます」の…看板を持って、

こっちを見ていました…次に…手招きをしてきたんです

こっちを見ながら、手招きを…

私は駅へと向かいました。

V…広告14駅前アップ

どこかに行かなきゃ、そんな気がして

駅に…そしたら子供がやってきて、すれ違いました。

すれ違い様に笑顔で

幼子の絵合　　いつでも殺せるよ

M…幼子、無限回廊

空蝉　　え…：振り返りました、うん…：大丈夫です。

その子はゲームをしていたんです、ボタンを激しく押しながら

幼子の絵合　　死ね、死ね、ああ死んだ、終わった

空蝉　　ゲームの残機、ゼロになっただけです

たまたまです、たまたま目が合っただけなんですけど子供は、私を見て笑いました…たまたまです…

目線は、下だったんです、だから、目線を上げて戻しました

でも私は…振り返っていたんですよ、すれ違った時に…

その目線を、上げたら、つまり、着ぐるみが…

V…広告15着ぐるみアップ2

やっぱり着ぐるみがこっちを見ていました

ゆっくり手が動いたので、手招きなんか見たくない

私は駅へ走りました。私鉄なんです、私鉄の駅です。

ホームが外からでも見えます。踏切の音もしています

そしたら、大きな警告音と大きな悲鳴

M…シュ！無限回廊ロング

宿木 A

いやあああ！

宿木 B

飛び込んだ！

宿木 C

え？人身？

空蝉

人身事故です。誰かが飛び込みました

幼子の絵合

いつでも殺せるよ

空蝉

さっきの子供です、タイミング…タイミングよ…

ゲームを再開してるんです…

人が集まってきました…もう…みんな…まるで…みんな、

みんな、自分を見ているようで…自分がいつでも、

そうなりそうな目で…見られているように…感じました

人込みを見渡していくと、集まっている人込みの中に…

着ぐるみもいました…「いつでも…」の看板を持って。

もう…無理…家に向かいました、走りました…
5秒くらい走って、振り向くと、ああ…やっぱりそうだ…
やっぱりそうなんだ…やっぱり、

V…広告16駅前着ぐるみ見つめる

着ぐるみがこつちを見ていました
商店街を抜けて、保育園の広告、子供達の笑顔が…

もう、子供の顔…見れないかも…笑顔が…笑ってるように見えない…
クリーニング屋さんの広告も、何を、どこに送って、どんな機械で
どんな風に…汚れを…消して…消される…きつと、消される…
そしたら、政治家は笑ってるんです

V…広告16政治ポスター2顔増やす

あんなの、悪魔ですよ、政治家は悪魔ですよ、あんな笑い…
あんな顔、もうどこにも貼らないで欲しい…
でも、もう着くから、もう着いたから…ノックなんか…
するわけじゃないじゃないですか、誰もいませんよ
私しかいないんだから、私一人しかいないんだから…
ドアを開けて、鍵をして、短い通路、短い廊下、長くなかない！
いつもより長くなかない、いつもの部屋、私の部屋、

V…広告18カーテン閉

カーテンも閉めたまま、少し開いていたけど、ただの閉め忘れ、
そういう時だってある…座って…テレビを付けました…

V…広告19テレビ

もう一人じゃ…無理…

流行ってる映画：映画のダイジェスト、

V：広告20 テレビアップ

なんだっけ、タイトル、忘れた

でも流行ってる、新宿いけば渋谷にいけば、ビジョンでもよく流れてる

映画：好きだったんですよ、女優さん、好きだったけど、もう嫌い

もう見たくない、女優が、カメラ視線で、無表情だけど、

最後に笑うんです笑ったら、テロップが出ます

V：広告21 いつでも殺せるよ

「いつでも殺せるよ」……もう、どこにも……逃げ場がないじゃない……

V：広告22 室内

） 広告 完 ）

空蝉

さっきの子供です、タイミング……タイミングよ……

）口裂け女）

・語り部の蜻蛉（かげろう）

・葵（あおい）

語り部の蜻蛉

彼女は情報サイトを運営するベンチャー企業で記者として働いている

記者① 映画のキャッチコピーを見出しにしておいて「いつでも殺せるよ」

記者② 民自党のスローガン、生活トピックに入れておいて

「いつでもあなたの生活を支えます」

記者③ 洗剤の広告なんだから主婦向けに書かないと

「いつでも洗い立ての白さ」

記者④ いつでも、が増えましたね、スマホにも流れてきます

上司 もう飽きる頃だな、方向性変えるか、葵ちゃん

葵 はい

上司 そろそろ記事書いてみる？

葵 いいんですか？

上司 なんでもやってみないと、アイドルやってたんだよね？

バズらせるワードとかない？

きれいでごめん、生まれ変わってしまあ、とか

葵 アイドルは卒業したので

上司 ああ、痛客にうざがらみされたって言ってたね

でもなんか裏話欲しいな、オーディションとか楽屋とか

運営さん好きとか、それ都市伝説じゃね？とかああ！都市伝説！

都市伝説でいこうよ、担当テーマ都市伝説

葵 都市伝説…：フリーメイソン…：エプスタイン島…：プチエンジェル事件…

チェーンメール…：不幸の手紙…：人面犬…：人の顔？

学校の怪談に口裂け女…：怪談？

都市伝説と怪談の違い…

あの、口裂け女って妖怪なんですか？人間なんですか

上司

調査調査、取材取材、頑張って

語り部の蜻蛉

これは彼女が調査の過程で目にした怪談、口裂け女

口裂け女は昭和50年頃に広まった怪談。

学校の帰り道、電信柱の陰にコートを着たマスク姿の女性が

立っている。彼女は子どもに近づき

マスクの女

ねえ、私ってきれい？

語り部の蜻蛉

と問いかける。ここで「きれいじゃない」と否定すると、

女性はナイフを振りかざして襲いかかってくる。

マスクの女

ああああああ！！！！！！！！！

語り部の蜻蛉

逆に「きれい」と答えると、今度はマスクを外し

裂けた口を見せつけながら

マスクの女

これでもオオ？

語り部の蜻蛉

と、ポケットに忍ばせていたナイフで滅多刺しにされるのだ。

マスクの女

あは、あははア、うふふウ

語り部の蜻蛉

この「口裂け女」の噂は、当時子どもたちの口コミで一気に広がり、恐怖のあまり下校できない子達が続出した。

そのため学校では集団下校が導入され、

パトカーまで出動するほどの社会現象となった。

葵

口裂け女の正体…

語り部の蜻蛉

口裂け女の正体は、整形手術に失敗した女性である

葵

え？実在の女性なの？

語り部の蜻蛉

という説があり、他にも精神病院から脱走した女性という説もある

葵

これも実在した事になる

語り部の蜻蛉

口裂け女は足が速いので逃げて追いつかれる
100mを6秒で走る

葵
100mを6秒？妖怪？

語り部の蜻蛉
ポマードを持っていれば助かる

葵
香水じゃだめなのかな

語り部の蜻蛉
持っていないなくても、ポマード ポマード ポマード

と3回唱えれば助かる

葵
どっちなんだろう？

もし、口裂け女の正体が人間なら都市伝説だし

妖怪なら怪談。

語り部の蜻蛉
口裂け女は妖怪か？人間か？その境界線

昭和の後期に誕生し、子供達の口コミで広がり現代でも語り継がれる

口裂け女。彼女の記事により、その怪談、現実との境目

その境界線が、今、ここに現れた

都市伝説と怪談、その狭間…

怪談をしてはいけない…怪談を聞いてはいけない…

別の次元に飛ばされる

葵

もうこんな時間…

語り部の蜻蛉

ここまでの情報をメモ帳に書き、会社を後にした

私鉄に乗り、一人暮らしをしている郊外の駅へ…

駅から15分。いつもの帰り道は静かだった…

いつも以上に人影が無い…無人の道…

昭和の面影が残るような細い1本道

その角を曲がれば自宅のマンションがある

はずだった…

その角の電信柱に。人影がある

長いコートを着てマスクをして人物

だが、男性だった

彼女は目を合わせないように少し離れて大回で通り過ぎようとした

ゆっくりと、早すぎず、遅すぎず、背の高いコートとすれ違い

通り過ぎた瞬間

マスクの男

ねえ

語り部の蜻蛉

と、マスクの男が声をかけてきた

マスクの男

葵ちゃん

語り部の蜻蛉

名前を呼ばれた

マスクの男

ねえ、僕の事、好き？

語り部の蜻蛉

もう、彼女は気づいていた、自分の名を呼ぶその男の正体に

葵

好きじゃないです

語り部の蜻蛉

男は、彼女が学生の頃、アイドルをしていた時のファンだった

しつように迫り、追いかけて、出入り禁止となった

アイドルを辞める理由となった男

マスクの男

好きっていったよねええ！！！！

語り部の蜻蛉

狂った声と共に、ポケットに隠していたナイフを取り出し

襲い掛かる

一瞬の出来事、一刺し、二刺し、二度、三度

滅多刺し……おびたたい量の血、彼女は倒れ

カバンからはメモ帳が落ちた

マスクをしたコートの男、ストーカーはそのメモ帳を拾い

無言で読んだあと

動かなくなった彼女の口を左右に切り裂いた

そしてメモ帳の最後に赤い文字でこう付け足した

「口裂け女の正体は、口裂け女に取り憑かれた人間の犯行である」

そしてマスクとコートを彼女に被せたあと、男は自殺した

この事件は瞬く間に広がり

情報サイトでは一番のアクセス数を誇るニュースとなった

様々な憶測が飛び交う中、子供達の口コミでは情報が独り歩きを

していく。

「口を裂かれた女は、その後起き上がり、復讐のため、

無差別に問いかけてくる」

葵

ねえ、私ってきれい？

語り部の蜻蛉

この都市伝説は怪談となった

く口裂け女く 完